

# ◇ 日本史

日 5-1～日 5-12 まで 12 ページあります。

第1問 次のAの史料とBの文章を読み、それぞれの間に答えよ。

A

(a) 夫れ(ア)楽浪海中に倭人有り、分れて百余国と為る。歳時を以て来り献見すと云ふ。

(b) 倭人は( A )の東南大海の中に在り、山島に依りて国邑を為す。旧百余国、漢の時朝見する者あり。今使訳通ずる所三十国。……(イ)其の国、本亦男子を以て王と為す。住まること七、八十年。倭国乱れ、相攻伐して年を歴たり。乃ち共に一女子を立てて王と為す。名を(ウ)卑弥呼と曰ふ。鬼道を事とし、能く衆を惑はす。年已に長大なるも、夫婿無し。男弟有り、佐けて国を治む。

問1 史料の下線部(ア)について述べた文のうち、誤っているものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 楽浪郡は4世紀前半に高句麗によって滅ぼされた。
- ② 楽浪郡は唐によって朝鮮半島におかれた4郡の一つである。
- ③ 楽浪郡の役所は、現在の平壤(ピョンヤン)付近にあったとされる。
- ④ 楽浪郡に倭人は定期的に使者を送り、貢ぎ物を持ってきていた。

問2 史料(a)の出典は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 『漢書』地理志
- ② 『後漢書』東夷伝
- ③ 『宋書』倭国伝
- ④ 『隋書』倭国伝

問3 文中の( A )にあてはまる語句は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 臨屯
- ② 玄菟
- ③ 帯方
- ④ 真番

問4 史料中の下線部(イ)について、「其の国」とは何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 一大国
- ② 奴国
- ③ 邪馬台国
- ④ 狗奴国

問5 史料の下線部(ウ)について、卑弥呼の政治に関わる文のうち、正しいものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 卑弥呼は呪術を用い、宗教的権威を背景にして政治をおこなった。
- ② 卑弥呼は夫や男弟とともに、身分制度を中心とした政治を行った。
- ③ 卑弥呼は後漢の皇帝から「親魏倭王」の称号や金印紫綬を授かった。
- ④ 卑弥呼は266年に晋(西晋)の都洛陽に使いを送った。

問6 最新の研究により、史料の下線部(ウ)の墓ではないかと推定される奈良県桜井市にある古墳時代前期の巨大な前方後円墳はどれか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 誉田御廟山古墳
- ② 大仙陵古墳
- ③ 箸墓古墳
- ④ 造山古墳

問7 史料(b)の出典は『魏志』倭人伝である。『魏志』倭人伝の記述を含んだ中国の史書『三国志』の著者は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 范曄
- ② 陳寿
- ③ 恵慈
- ④ 観勒

問8 東アジアに関する事柄について述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

解答番号

- Ⅰ 倭王武が中国南朝の宋に使者を派遣して朝貢した。
- Ⅱ 百済の聖明王が倭に初めて仏教を伝えた。
- Ⅲ 後漢の光武帝が倭の奴国に金印を授けた。

- ① Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ
- ② Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ
- ③ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
- ④ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ
- ⑤ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ
- ⑥ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

B

7世紀後半から8世紀初頭にかけての文化を( B )文化という。( C )・(エ)持統天皇の時代を中心としており、(オ)律令国家が形成される時期の勢いのある若々しい文化で、遣唐使などによって伝えられた初唐の文化の影響を受け、仏教文化を基調としている。( C )によって、(カ)大官大寺・( D )が作り始められるなど仏教の興隆は国家的な規模で推進され、地方豪族も競って寺院を建立したため、(キ)この時期に仏教は展開していった。

問9 文中の( B )にあてはまる語句は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 飛鳥
- ② 白鳳
- ③ 天平
- ④ 弘仁・貞観

問10 文中の( C )にあてはまる天皇は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 舒明天皇
- ② 孝徳天皇
- ③ 天武天皇
- ④ 元明天皇

問11 下線部(エ)について、この天皇の時代の政策として正しい文を次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① この天皇の時代に、庚午年籍とよばれる戸籍がつくられた。
- ② この天皇の時代に、『令義解』とよばれる律令の注釈書が完成した。
- ③ この天皇の時代に、養老律令が制定された。
- ④ この天皇の時代に、藤原京への遷都が実現した。

問12 下線部(オ)について、大宝律令が制定されたのは何年のことか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 698年
- ② 701年
- ③ 708年
- ④ 711年

問 13 文中の下線部(カ)に関する文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の正しい組み合わせを下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 13

- Ⅰ この寺院は平城京遷都後すぐに火災により焼失されたという記録が文献史料に残っている。  
Ⅱ この寺院は舒明天皇が造立した百濟大寺がその前身の寺院だと推定されている。

- |   |     |     |
|---|-----|-----|
| ① | Ⅰ－正 | Ⅱ－正 |
| ② | Ⅰ－正 | Ⅱ－誤 |
| ③ | Ⅰ－誤 | Ⅱ－正 |
| ④ | Ⅰ－誤 | Ⅱ－誤 |

問 14 文中の( B )文化の作品として正しいものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 14

①



②



③



④



問 15 文中の( D )にあてはまる寺院はどれか。正しいものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 元興寺
- ② 飛鳥寺
- ③ 薬師寺
- ④ 唐招提寺

問 16 文中の下線部(キ)について、これ以後の仏教の展開に関して、正しいものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 奈良時代には、聖武天皇が鎮護国家の思想から東大寺に盧舎那仏を建立した。
- ② 奈良時代後半には、鑑真が律宗を中心とした政治を行い、法王の位にまで昇進した。
- ③ 平安時代前期には、最澄や空也が新仏教を確立し、長岡京には多くの寺院が乱立した。
- ④ 平安時代中期には、空海が京の市中で浄土教の教えを広め、やがて貴族の間に広まった。

第2問 次のAとBの文章および史料を読んで、それぞれの間に答えよ。史料は一部、省略したり、書き改められたりしたところもある。

A

雪舟は(ア)室町時代の代表的な画僧で、備中(現在の岡山県)に生まれ、若くして京都に行き、相国寺で禅を学び、絵画については周文に学んだとされる。その後、(イ)1467年には(ウ)大内氏の遣明使節に便乗して(エ)明へ渡り、杭州などを訪れつつ各地で絵を描いたと伝えられる。やがて1469年には帰国し、( A )から(オ)豊後・豊前などを経て、再び( A )に戻り、その地で彼の代表作でもある( B )などを描いている。その後も各地を旅しながら数々の名作を遺した。

問1 文中の下線部(ア)について、雪舟とともに室町時代の水墨画の画僧に当たる人物は誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- |      |      |
|------|------|
| ① 如拙 | ② 俊寛 |
| ③ 成尋 | ④ 忍性 |

問2 文中の下線部(イ)の年に起こった出来事は何か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- |        |         |
|--------|---------|
| ① 明德の乱 | ② 明応の政変 |
| ③ 応仁の乱 | ④ 永享の乱  |

問3 文中の下線部(ウ)に関する文I・IIについて、その正誤の正しい組み合わせを下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- I 1399年に三代将軍足利義満により、応永の乱で大内義隆が滅ぼされた。  
II 1523年に堺商人と結ぶ細川氏と寧波で争って勝利し、日明貿易の主導権を握った。

- |       |      |
|-------|------|
| ① I－正 | II－正 |
| ② I－正 | II－誤 |
| ③ I－誤 | II－正 |
| ④ I－誤 | II－誤 |



**B**

士農工商ハ天下ノ治マル相トナル。四民カケテハ助ケ無カルベシ。……(中略)……  
商人ノ買利モ天下御免シノ禄ナリ。夫ヲ汝獨、売買ノ利バカリヲ欲心ニテ道ナシト云ヒ、商人ヲ惡  
ンデ断絶セントス。何以テ商人計リヲ賤シメ嫌フコトゾヤ。

出典:『都鄙問答』

問9 史料Bについて、この史料は心学の思想を問答形式でわかりやすく述べたものである。誰の著作か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 富永仲基
- ② 石田梅岩
- ③ 本多利明
- ④ 海保青陵

問10 心学の思想を寺子屋などを通して全国に広めた人物として、正しいものを次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 手島堵庵
- ② 野呂元丈
- ③ 桂川甫周
- ④ 西川如見

問11 史料Bに書かれた内容として正しい文を、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① この史料では、商人の存在を利益追求ばかりを考える賤しいものだとしている。
- ② この史料では、身分制の問題について商人を例に言及し、四民平等を主張している。
- ③ この史料では、当時の商人を蔑視する思想に対して異議を唱え、営利の追求を認めている。
- ④ この史料では、商人を四民の中では最高の存在と礼賛し、他の身分を否定している。

問 12 史料 B の思想が各地に広まった 18 世紀末から 19 世紀初め頃の政治に関する文 I ・ II について、その正誤の正しい組み合わせを下の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号 

28
----

- I 松平定信が、寛政の改革において、林子平が著した『海国兵談』を発禁処分とした。
- II 松平定信の失脚後には、11 代将軍徳川家慶が政治の実権を握り大御所時代を迎えた。

- |   |       |        |  |
|---|-------|--------|--|
| ① | I - 正 | II - 正 |  |
| ② | I - 正 | II - 誤 |  |
| ③ | I - 誤 | II - 正 |  |
| ④ | I - 誤 | II - 誤 |  |

第 3 問 次の史料を読んで、それぞれの間に答えよ。史料は一部、省略したり、書き改められたりしたところもある。

( A )といふ文字は、日本語としては極めて新しい用例である。従来は民主主義といふ語を以て普通に唱へられて居ったようだ。時としては又民衆主義とか(ア)平民主義とか呼ばれたこともある。然し民主主義といへば、社会民主党などといふ場合に於けるが如く、「国家の主権は人民にあり」といふ危険なる学説と混同され易い。・・・(中略)・・・我々が視て以て憲政の根柢と為すところのものは、政治上一般民衆を重んじ、其間に貴賤上下の別を立てず、而かも(イ)国体の君主政たると共和制たるとを問はず、普く通用する所の主義たるが故に、( A )といふ比較的新しい用語が一番適當であるかと思ふ。

出典：『(ウ)憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず』

問 1 史料中の( A )にあてはまる語句を次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 民生主義
- ② 民本主義
- ③ 民権主義
- ④ 民族主義

問 2 史料の論文は、何という総合雑誌で発表されたか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 『改造』
- ② 『太陽』
- ③ 『種蒔く人』
- ④ 『中央公論』

問 3 この史料が発表された当時の日本の状況について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 埼玉県秩父地方で困民党を称する約 3000 人の農民が負債の減免を求めて蜂起した。
- ② 日露戦争後の講和条約の内容に不満を爆発させた国民が日比谷焼打ち事件を起こした。
- ③ 大正政変を契機とする民衆運動の高まりは、大正デモクラシーの潮流を生んだ。
- ④ 節約・貯蓄など国民の戦争協力をうながすため、国民精神総動員運動が展開された。

問 4 史料中の下線部(ア)に関連して、平民的欧化主義を説き、雑誌『国民之友』を発刊したのは誰か。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 三宅雪嶺
- ② 陸羯南
- ③ 高山樗牛
- ④ 徳富蘇峰

問 5 史料中の下線部(イ)について、1925年、国体の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社の組織者と参加者を処罰するとした法律を成立させた内閣はどれか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 加藤友三郎内閣
- ② 加藤高明内閣
- ③ 高橋是清内閣
- ④ 田中義一内閣

問 6 史料中の下線部(ウ)について、この論文は誰が発表したか。あてはまる人物を次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 久米邦武
- ② 高野房太郎
- ③ 吉野作造
- ④ 中野重治

問 7 史料中の下線部(ク)について、この論文を発表した人物が、全国的な啓蒙運動を行うために組織した団体を何というか。次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号

- ① 黎明会
- ② 友愛会
- ③ 赤瀾会
- ④ 大政翼賛会

問 8 次の各内閣の時期に起こった事柄について述べた文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

解答番号 

36
----

- Ⅰ 第二次大隈重信内閣のとき、日英同盟を理由に第一次世界大戦に参戦した。
- Ⅱ 第一次近衛文麿内閣のとき、盧溝橋事件が起こり、日中戦争へ突入した。
- Ⅲ 第一次若槻礼次郎内閣のとき、金融恐慌が起こり取り付け騒ぎにより銀行が休業した。

① Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ

② Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ

③ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

④ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ

⑤ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ

⑥ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ